



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30
 例会場：卯辰山・ホワイトハウス
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
 TEL <0762> 63-1151

会長：越野 民男 幹事：浅田 豊久
 情報委員長：清水 忠

1976・4月15日

第63号

I.C.G.F.特集

“I.C.G.F.に想う”



ホストクラブの努力の結晶へのいたわりもあったのであろう「かつて出会ったことのない、ユニークな企画」と、安積先生、中田ガバナー、矢橋リーダーなど口を揃えて讃えられた。

事実、渡辺和子、安積得也両先生のご講演は、感銘深き圧巻であった。

一方、日本ロータリー55年の総反省を念願したテーマ“ロータリーは素晴らしい！……だけど現状は？”に対応する提言、討議には、四つに組んだ盛り上がり欠けて寂しかった。課題が大き過ぎた為であろうか。

ベテランも多い先輩クラブの金沢および金沢東から「さすが……」と思われるお手本の示されるのを期待したのに「意見なし」は、長大クラブの苦悩の故か。また地元出身の2人のパストガバナーが共に欠席されたのには、奇異がささやかれていた。しかるに遠く四国の松山、神奈川の鎌倉から、また三重県第一、第二、岐阜第一の各分区代理や、鉄路4時間有余の奥能登からも多くの特別参加のあったのには、深く頭のさがる思いを禁じ得ない。

特別講演の渡辺先生の“人間らしさを求めて”は、ロータリアンに非ざるこの人から、現世ロータリアンに求められているロータリー精神を、かんでふくめるように訓えられた感。その一節に「人間生活のオアシスは、オはよう。アありがとう。シつれい。すみませんの四つの思いやりからかもし出される」との表現は、いつまでも温く胸中深く残るであろう、強く印象的修辞であった。

安積先生は、まさに基調講演にふさわしく、現代ロータリーへの訴えであり教示であった。“四つのクラブの七つの驚き……建国200年のアメリカでロータリークラブ例会を訪ねて”と題されて、①祈りがあった。②笑いがあった。③転回があった。④結合があった。⑤体温があった。⑥質問があった。⑦時間があった。……と、祈笑、転、結、体、質、時を説かれた。さすが思索の人、実践の人、国際人の見識であった。

(文責 柴田三郎)

国際ロータリー第361地区・石川県第1分区

1975～1976

インターシティ・ゼネラル・フォーラム

テーマ 「素晴しきロータリー、だけど現状は」

前日来の雨も晴上り、多少肌寒さを感じるが天気はよい。ただ3月決算の年度末であり、日曜日に加えて大安であり、何かと多忙なロータリアン諸兄にとって、出席することは極めて至難なわざと危惧された。

予想した通り当日の出席は約半数である。しかし、それでも盛況と云うべきだろう。時間例行のため定刻11時に開会宣言があり、続いて中田ガバナーの手により点鐘が行われ、越野会長の歓迎の言葉、そしてガバナーより今回のI.C.G.F.は前例のない特別形式で举行されることに対しガバナーと



して承認した旨の挨拶がある。フォーラム、リーダーによる特別参加者の形通りの紹介と成瀬分区代理による参加クラブの紹介があり、11時30分より本日のハイライト、岡山ノートルダム清心女子大学長、渡辺和子先生の特別講演（後述）があり感銘を受ける。一旦休憩の後、安積得也先生の示唆に富んだ講演（後述）があり、午後1時30分各クラブの提言に移る。

◆ 提言要旨下記の通り

「例会時間を随時10～20分延長してはどうか」

「情報資料を1ヶ所にプールして区内ロータリー相互に有効に活用してはどうか」

「交換学生派遣のための補助金の種類は」「ロータリーの現状打破、マンネリ化の防止に地域活動を積極的に行う必要がある」

「小都市の増強は如何したらよいか」

「交換学生の便宜のため、語学研修を事前に行うべきではないか……」等々である。

このあと、それぞれ是認と研交を要する旨の討議講評があり午後4時30分、無事閉会の点鐘がなされた。なお、当北ロータリーの提言は「修練委員会を各クラブに設置してはどうか」

「城北地区開発促進同盟の設立活動はロータリー活動として妥当かである」

◆ 特別講演「人間らしさを求めて」 要旨 渡辺和子先生

「現代はあまりにも自由すぎる」我々の真の自由は、不平を云う「諸条件からの自由」ではなく「諸条件に対する自由である」そして、人間関係を好ましいものにするのは「他を先にする心」であろう。それは礼儀についても同じで、礼儀は形式ではなく他を大切にその人の心の現われである。

現代は人を利用価値のみにより評価する風潮があるが人は存在価値において評価されねばならないと思う。「小さきは小さく咲かん」という詩の一節のように人はみなほかの誰でもない。自分自身を大切に生きなければならない。相手の出方に左右されるのではなく、自分自身責任をもてる生き方と堅技してゆく態度が尊い。

日 時 昭和51年3月28日(日) A.M 11:00～PM 4:30

会 場 北陸放送会館2F大ホール

参加クラブ 河北、松任、能美、小松、加賀、山中、金沢、金沢東、金沢西、金沢南、金沢北

(文責 松本智修練委員)

日本のロータリーは……

安積 得也氏



昨年創立70周年を祝った、国際ロータリーの誕生は、1905年（明治38年）2月23日であった。アメリカに生れ、アメリカに育った青年弁護士ポール・ハリスが、3人の友人と語らって、人心の荒れすさんでいた経済恐慌下のシカゴで、第1回の会合を開いたのが、ロータリークラブの出発となった。その当時誰が今日のような地球大の発展を予想したろうか。ロータリーのネットは、現在151の国家および地域にひろめられ、会員数777,000名、クラブ数16,616に達した。

わが国のロータリークラブは、1920年（大正9年）10月20日東京での誕生が最初である。大太平洋戦争による中断はあったとしても、今や各地に普及し、会員数69,232名、クラブ数1,288に達している。（1月現在）



ロータリーの基本精神は友愛（Fellowship）と奉仕（Sevice）だという。ロータリー発祥の地アメリカではどうか。最近、1ヶ月ほど米国滞在の機会をめぐまれた筆者は、東部から中部にわたり4ヶ所のロータリークラブ例会を訪ねることができた。ワシントンDCとニューヨークのロータリーは、二つとも会員数400名に近い大型クラブである。他の二つ——エングルウッド（ニュージャージー州）及ハイランドパーク（イリノイ州）は100人足らずの中型クラブである。

その四ヶ所のクラブ例会に出席して、驚いたことが七つあった。“驚いた”とは、必ずしも“感嘆”という無条件評価を意味しない。ただ、わが内心に包蔵する日本的尺度に照して、“著しき意外性”を意味したことだけはたしかである。簡単に事実を列挙しよう。

- (1) 祈りがあった。ロータリーは宗教と政治と人種と国境を超越した友愛組織であるが、四ヶ所とも短い祈りによって開会された。使命という言葉が強く耳に残っている。
- (2) 笑いがあった。時に爆笑さえあった。しかも、卓話のときの私語は見られなかった。
- (3) 転回があった。ここに転回というのは、臨機応変と生命力というほどの意味である。卓話者が急な事情で欠席と知らされた時の、全体討議への切、かえなど、みごとであった。
- (4) 結合があった。会員同志の知り合い度は、筆者の平均的予想を越えていた。
- (5) 体温があった。ここで体温とは対外的ホスピタリティを意味する。有形のごちそうではない。ふれあいの温かさである。
- (6) 質問があった。卓話のあとで必ず数名の質問があった。簡潔だが生き生きしていた。日本のロータリーでは質問はない。少なくとも質問の習慣はない。
- (7) 時間があった。四ヶ所とも1時間半だ。ゆったりしていた。日本はかっさり1時間である。せかせかと急がしい。



明治の作家森鷗外は、その小説「青年」の中で、こんな意味のことを書いている。「日本へ持って来ると何でも小さくなる。イブセンも日本に伝わって来て、ずっと小さいイブセンになった。ニイチエも小さくなった。トルストイも小さくなった。……」

さてロータリーはどうであろうか。

ロータリーニュース

金沢城北地区開発促進同盟スタート

当クラブ本年度事業の最大目標の一つ、城北地区開発促進同盟は、3月27日石川トヨペットにおいて、中西知事・岡市長はじめ来賓関係者多数出席し、発会式を挙げて将来に向かって雄々しく発足した。当日の概要次の通り。

(A)経過報告：岡田社会開発委員長。

昨年7月、当クラブ越野会長より、開発の遅れている金沢北地区の発展を促進する目的で、地区有志の同盟を作ってはどうかという提案が理事会でなされ、全員の賛同を得た。

その後城北ライオンズ、校下有志にも働きかけ、幾度かの準備委員会を重ねて本日を迎えた。

(B)会則の審議：越野会長を議長に選出。

◆目的：金沢市浅野川以北の開発促進を目的に、各地域の連絡を密にし、関係行政機関との協力を図り、地域住民の福祉向上と豊かな地域社会づくりに寄与することを目的とする。



金沢北ロータリーの三団体から推せんを受けた地区内有志。

◆会長選任：宗田当クラブ副会長を、初代会長に選出。

(C)この後、宗田会長が力強い就任挨拶を述べ、中西知事、岡市長、米沢県議、室井市議会議長が夫々祝辞を述べ、最後に本岡副会長の発声で万才三唱して散会した。

引続き4月6日には、ホワイトハウスで第1回常任理事会を開き、具体的事業の推進方法について討議した。

◆事業：城北地域内の次の事業の促進を行う。

- ①下水道事業の建設・整備。
- ②都市計画路線の着工・建設。
- ③丘陵地域一帯の開発整備。
- ④北陸自動車道、東インター、金沢貨物駅周辺の開発整備。
- ⑤旧日本電工跡地の整備利用。
- ⑥市・県道の改良並に新設計画の達成河川の改良。
- ⑦その他緊急を要する施設の建設、整備。

◆会員：城北地区校下連合会、城北ライオンズ

I.C.G.F.善意のニコニコボックス

3月27日開催のI.C.G.F.に、遠路参加下さった次の各氏からニコニコボックスに好意あるご寄附をいただいたので特に明記しておきたい。

松山RC 梶浦氏
鎌倉RC 相川氏
岐阜RC 長岡氏
東京南RC 安積氏

陽春懇親会開催

新入会員の歓迎、I.C.G.F.の慰労、観桜等の意味をかねて、春うららの4月10日、石亭で全員参加の懇親会が開かれ、一刻千金の春宵を愉しんだ。



交換学生 Mary Byrnes 嬢を迎えて

この度、当クラブはアメリカのバッファローより初の交換学生Mary Byrnes 嬢を迎え入れた。彼女は今年の1月バッファローのBishop Neumann Hight Schoolを卒業したが、在学中はチア・ガールのリーダーをしたり、ダンス（バレエ・ジャズ）、スキー、スケート等スポーツが趣味という17才の笑顔のチャーミングなお嬢さんである。この4月から来年3月まで北陸学院短期大学に学びながら日本の家庭生活を体験するが、会員一同の心暖なご協力をお願いすると共に、彼女には我々大和魂と遠いアメリカのフロンティア精神との友情のかけ橋として有意義な1年間を過ごしてもらいたいものである。

●●●自己紹介●●●

私はメアリー・バーンです。

3年前から日本に来たいと思っていました。今度金沢北RCのお世話で金沢で生活することになり、たいへん喜しく思っています。これからの1年間は長いと思いますが、みなさんのご協力で大変楽しくてためになる短い1年になるだろうと期待しています。どうぞよろしくお願い致します。 —Mary Byrnes—



生年月日 1958年5月10日（17才）
住 所 278 Minnesota Ave Buffalo
出身校 Bishop Neumann Hight School
スポンサークラブ Rotary Club of Buffalo
家族構成 父・母・兄弟5人、姉妹1人の9人家族
宗 教 ローマンカソリック
趣 味 ダンス(バレエ・ジャズ)、スキー、スケート、体操

石川県第一分区

次期会長・幹事役員の合同研修会報告

日時 3月21日 午後1時～3時半
場所 ホワイトハウス

中田ガバナーより下記の如き講話があり、5つの問題提起され、各分科会によって種々討論が行われた。

戦前と戦後ロータリアンの質の相違については重要な選考により気概のあるロータリアンを目ざす必要がある。亦ロータリー発祥の基本理念（四つのテスト）に基づいてロータリアンの個人中心の精神的奉仕に徹し、ライオンズクラブの団体中心の金銭的奉仕とは自ら区別すべきである。

シカゴのフレデリック・ジエルドンのロータリーの標語
“奉仕に徹すれば最大の利益が得られる”
＝商品と満足を売り代金と感謝を得る。が特に感銘を深めた。

中田ガバナーよりの問題提起は、

- ①公式訪問について
- ②例会のあり方はこれでよいのか
- ③ファイヤーサイドミーティングをどうするか
- ④広報活動について
- ⑤インターアクト・ローターアクトをどうするか

時間の足りなさを感じた。

今後はもうすこし時間をかけるべきだと感じました。
(文責 平尾信明)

当クラブ出席者 越野、柴田、米沢(修)、宗田、平尾、本江 計6名



第125回例会

◆ 4月1日(休)晴 ホワイトハウス 12:30~13:30



1. 講話
「すぐに使える
インスタント速記」
中根式速記学校々長
中根正雄氏
2. 出欠
出席36名、欠席9名
出席率80.00%
3. 来訪者
金沢RC

玉田晴二君
坪野俊雄君
山本清嗣君、沖中和雄君
北元喜雄君、中村栄俊君
金沢東RC 大久保治君、番匠鉄雄君
中田淳造君、佐藤尚夫君
山岸敬信君
金沢西RC 山県智正君、吉川正美君
大沢欣伍君
金沢南RC 辻弘君、成瀬栄蔵君

4. 幹事報告
 - 拡大委員会
新入会員紹介 佃一成君
 - I.C.G.F報告
成瀬分区代理よりI.C.G.F成功のお礼の言葉。
 - I.C.G.F特別講師渡辺和子先生著書「美しい人に」配布。1冊 740円。
5. 御誕生日祝 岡田林太郎君、吉山宥海君
上次作君、由井賢一君、釣見栄一君
高田全君、水野博君
6. 御結婚記念日祝 柴田三郎君、若野三朗君
山上啓介君、大村精二君
7. 今日のニュース ミニニュージャージ州最高裁は、植物人間カレン・アン・クインランさんをめぐる安楽死裁判で、父が同意し、医学専門家が回復見込みなしと判断した場合には、安楽死を認めるという歴史的判決を下した。

第126回例会

◆ 4月8日(休)晴 ホワイトハウス 12:30~13:30



1. 講話
「北陸自動車道について」
日本道路公団金沢建設局々長 乙藤憲一氏
2. 出欠
出席29名、欠席16名
出席率64.44%
3. 来訪者
帯広西RC
佐々木象山君
東京城東RC
西本謙二君

輪島RC 大場庄三郎君
金沢RC 小松暁一君
金沢東RC 矩幸成君、米沢秀男君
新名健吉君、浅田裕久君
野村清君、山岸敬信君
金沢西RC 坂本宗一郎君、東正樹君
大沢欣伍君、正見二郎君
金沢南RC 得能節朗君、徳光泰治君
柿本英夫君、宮本桂三君

4. 幹事報告
 - 理事会15日例会終了後開催。
 - 国際奉仕委員会
パツファロー交換学生Mary Byerns嬢紹介。
 - 親睦委員会
お花見懇親会ご案内
とき 4月10日(土) PM 6:00~
ところ 石亭
5. ニコニコBOX
 - I.C.G.F成功を祝って
岐阜県第1分区代理 長岡善一君
 - ご子息大学入学につき 平尾信明君
6. 今日のニュース 中共中央委員会は、毛沢東主席の後継者と目されていた鄧小平副首相を一切の公職から解任し、華国鋒氏を首相に昇格させた。
西側諸国は驚きの表情で受取っている。

3月例会出席状況

(100%)皆出席22ヶ月

会員名	月日	3/4	3/11	3/18	3/25	3月	会員名	月日	3/4	3/11	3/18	3/25	3月
浅田 豊久		○	○	○	○	◎	岡田 林太郎		○	○	○	○	◎
出島 敬識		○	○	○	○	◎	大海 徳二		○	M	○	○	◎
東元 潔		○	○	M	○	◎	大村 精二		○	○	○	○	◎
平尾 信明		○	○	M	○	◎	桜井 健太郎		○	○	○	○	◎
本江 他美夫		○	○	○	○	◎	柴田 三郎		○	○	○	○	◎
泉 武義		○	○	○	○	◎	清水 忠		○	○	○	○	◎
上 次作		○	○	○	M	◎	塩村 喜代次		M	○	○	○	◎
笠間 恒次		M	M	○	○	◎	庄田 厚郎		M	○	M	M	◎
加藤 悦大		○	○	○	M	◎	高田 全		○	○	○	○	◎
木田 忠男		○	○	M	○	◎	俵 外代吉		○	○	○	○	◎
木島 光仁		○	M	○	○	◎	土原 一		○	○	○	○	◎
小林 隆二		M	○	○	○	◎	釣見 栄一		○	○	○	○	◎
越野 民男		○	○	○	○	◎	若野 三朗		○	○	○	○	◎
小杉 守男		○	○	○	○	◎	山田 淳		M	M	○	M	◎
小杉 善二		○	○	○	M	◎	山田 安隆		○	M	○	○	◎
松本 智		○	M	○	○	◎	山上 啓介		○	○	M	○	◎
水野 博		○	○	○	○	◎	山岸 与作		○	M	○	○	◎
宗田 市太郎		○	M	○	○	◎	米沢 繁男		M	M	○	M	◎
長野 幸雄		○	○	M	○	◎	米沢 修一		○	○	○	○	◎
中村 省三		○	○	○	○	◎	吉田 昭炳		M	○	M	M	◎
大場 勝雄		○	M	○	M	◎	由井 賢一		M	○	○	○	◎
岡部 三郎		○	M	○	○	◎	吉山 宥海		○	○	○	○	◎